

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題ラウリン酸のオオミジンコ (*Daphnia magna*)に対する急性遊泳阻害試験試験番号

NMMP/E99/2150

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984 年)に準拠して実施した。

- 1)被験物質 :ラウリン酸
- 2)暴露方法 :半止水式(24 時間後に換水)
- 3)供試生物 :オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4)暴露期間 :48 時間
- 5)連数 :1濃度区に付き4連
- 6)生物数 :20 頭/1濃度区(1連に付き5頭で1濃度区 20 頭)
- 7)試験濃度 :対照区、助剤対照区、0.95mg/L、1.71mg/L、3.09mg/L、5.56mg/L、10.0mg/L
および18.0mg/L(公比 1.8)(設定濃度)
- 8)試験液量 :100 mL
- 9)照明 :室内光、16 時間明/8 時間暗
- 10)試験水温 :20±1℃

結 果

1)24 時間暴露後の結果

24 時間半数遊泳阻害濃度(EiC50)=7.0mg/L(95%信頼区間: 5.2mg/L~9.8mg/L)

2)48 時間暴露後の結果

48 時間半数遊泳阻害濃度(EiC50)=3.6mg/L(95%信頼区間: 2.6mg/L~5.6mg/L)

最大無作用濃度(NOECi)=1.5mg/L

100%阻害最低濃度=5.6mg/L

(上記濃度は、全て実測濃度の幾何平均値に基づく値)